

高山市新型コロナウイルス総合窓口の対応状況について

1. 受付状況について

※上段：4/16～10/15 6か月間 下段：《 10/1～10/15 11日間 》

①対応件数 延べ9, 819件（1日平均68件）  
 《 128件（1日平均12件） 》

\*うち、窓口4,687件(48%)、電話4,707件(48%)、メール103件(1%)、資料交付322件(3%)

《 窓口79件(62%)、電話49件(38%)、メール0件(0%) 》

[資料交付:県休業要請に対する協力金関係資料を渡すのみの対応]

②相談等項目別集計 延べ11, 191件（1日平均78件）  
 《 151件（1日平均14件） 》

区分	主な内容	件数（割合）	
事業者向け 給付・助成	県:休業要請に対する協力金（資料交付含む）	953(8%) 《0(0%)》	4,174 (37%) 《112 (74%)》
	市:家賃等に対する助成など	2,579(23%) 《92(61%)》	
	国:持続化給付金、家賃支援給付金など	642(6%) 《20(13%)》	
事業者向け融資	セーフティーネット保証認定、利子・保証料補給	1,110 (10%) 《4 (3%)》	
納付猶予・減免	市税、国民健康(介護)保険料、上下水道料	478 (4%) 《3 (2%)》	
個人向け給付	市:特別定額給付金、子育て世帯応援給付金	3,416(31%) 《4(3%)》	3,436 (31%) 《5 (3%)》
	国:休業支援金・給付金	20(0%) 《1(1%)》	
事業者の 雇用継続	雇用調整助成金	216 (2%) 《1 (1%)》	
個人向け貸付	緊急小口資金、福祉金庫資金	180 (2%) 《5 (3%)》	
市内消費喚起	プレミアム付き商品券、市内宿泊施設利用助成	816 (7%) 《7 (5%)》	
その他	感染拡大防止、支援等の要望、市営住宅関係など	781 (7%) 《14 (9%)》	
合計		11,191 (100%) 《151 (100%)》	

※複数の相談を受けた場合、それぞれに計上

### ③傾向や特徴

#### <市内消費喚起>

- ・プレミアム付き商品券に関する対応件数は9月末の販売期間終了により、10月上半期は7件(5%)に減少した。
- ・販売期間終了後の購入についての相談があった。

#### <特別定額給付金>

- ・延べ対応件数は3,393件で全体の30%を占めるが、10月上半期は3件のみである。
- ・10月12日の延長後の郵便申請期限を迎えるまで、入金確認等の相談があった。

#### 【参考】

##### (1) 申請開始

- ・オンライン申請 5月1日(金)～
- ・郵便申請 5月11日(月)～
- ・申請期限(延長後) 10月12日(月) ※郵便申請のみ

##### (2) 給付開始

- ・オンライン申請 5月8日(金)～
- ・郵便申請 5月20日(水)～

##### (3) 給付結果 (10月12日終了)

	郵便申請	オンライン申請	計	給付率
給付決定	34,972件	943件	35,915件	99.8%
	84,620人	2,438人	87,058人	99.9%

給付金額 87億580万円

\*受給対象者数 35,998世帯、87,156人

#### <事業者関連>

- ・10月上半期の事業者向け給付・助成に関する対応件数は、112件(74%)と相談区分の中で最も件数が多くなっている。
- ・相談内容としては、市の事業者向けの助成に関するものが92件と大半を占め、感染防止おもてなし補助金(旧観光振興事業補助金)が44件と最も多く、次いで商業機能持続化補助金(家賃・テナント料への助成)が29件、新ビジネス創出応援補助金が17件となっている。

- ・申請書類の提出や対象経費の可否に関する問い合わせのほか、事業完了による実績報告書の提出などの相談が引き続きあり、国の給付金（持続化給付金、家賃支援給付金）の申請に関する相談件数は増加している。

〈個人、労働者関連〉

- ・当面の生活資金を確保するための緊急小口資金貸付などについては、10月上半期は5件と一定の相談があり、横ばいが続いている。

問 合 先	
担当課	新型コロナウイルス総合窓口 (企画部 企画課)
課長	北村 幸治
係長	前田 研治 担当 小椋 直
連絡先	電話 (直通 0577-36-0024) (内線 2097)